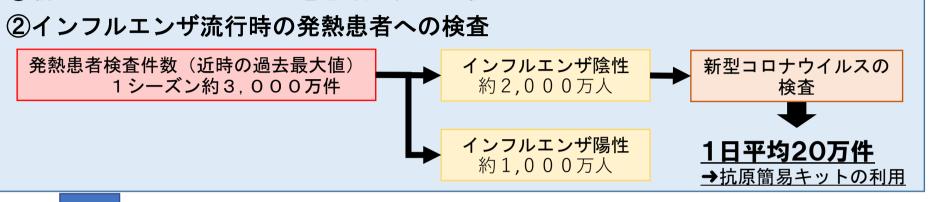
新型コロナウイルスに係る『検査体制の抜本的拡充』への対応について

厚生労働省の取り組み

①新型コロナウイルスのみを念頭に置いた検査 → ピーク時需要 約5.6万件/日



鳥取県における対応 <現在>行政検査700件→800件 民間2,000件

- ①新型コロナウイルスのみを念頭に置いた検査 → ピーク時需要 1,000件/日
- ②インフルエンザ流行時の発熱患者への検査
 - ⇒ 新型コロナウイルスの検査件数

1,800件

接触者等

コロナ疑い

約2.300件

500件

500件

- ◎抗原簡易キットを活用した地域の医療機関における検査体制を、県医師会・地区医師会等と協議を進め、各地区の状況を踏まえ検査体制の充実を図る。
 - → 9月7日(月)開催の医療体制協議会で、県医師会長・地区医師会長等と協議★検討のポイント → 検体採取方法の充実(ドライブスルー型の増設、時間分離型の診療、輪番制)

<病床確保計画に基づく即応病床>

各病院との協議を継続した結果、フェーズ1の即応病床152床→161床と増